



2021年3月期 第3四半期 決算説明資料

ゲオホールディングス(2681)

February.08.2021

GEO HOLDINGS CORPORATION



本資料の記載内容

- 1 2021年3月期第3四半期 連結業績概要
- 2 2021年3月期第3四半期 商材別実績
- 3 ゲオグループの取組み
- 4 2021年3月期 業績予想
- 5 配当・株主還元
- 6 補足資料
- 7 グループ概要

2021年3月期第3四半期連結業績

2021年3月期第3四半期：連結損益計算書

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための消費者の外出自粛が続くなかで、新品ゲーム関連商品の販売が堅調に推移しました結果、売上高は増加しましたが、売上総利益率の低下と販管費の増加により営業利益・経常利益は、前期比62.8%・62.5%と前年を大きく下回る結果となりました。

単位：百万円	20.3月期 3Q実績	21.3月期 3Q実績	増減	前期比
売上高	222,041	243,396	21,355	109.6%
売上総利益	91,803	94,945	3,141	103.4%
（売上総利益率）	41.3%	39.0%		
販管費	84,703	90,487	5,783	106.8%
営業利益	7,099	4,457	▲2,641	62.8%
（営業利益率）	3.2%	1.8%		
経常利益	7,637	4,774	▲2,863	62.5%
四半期純利益※	4,218	1,018	▲3,199	24.2%

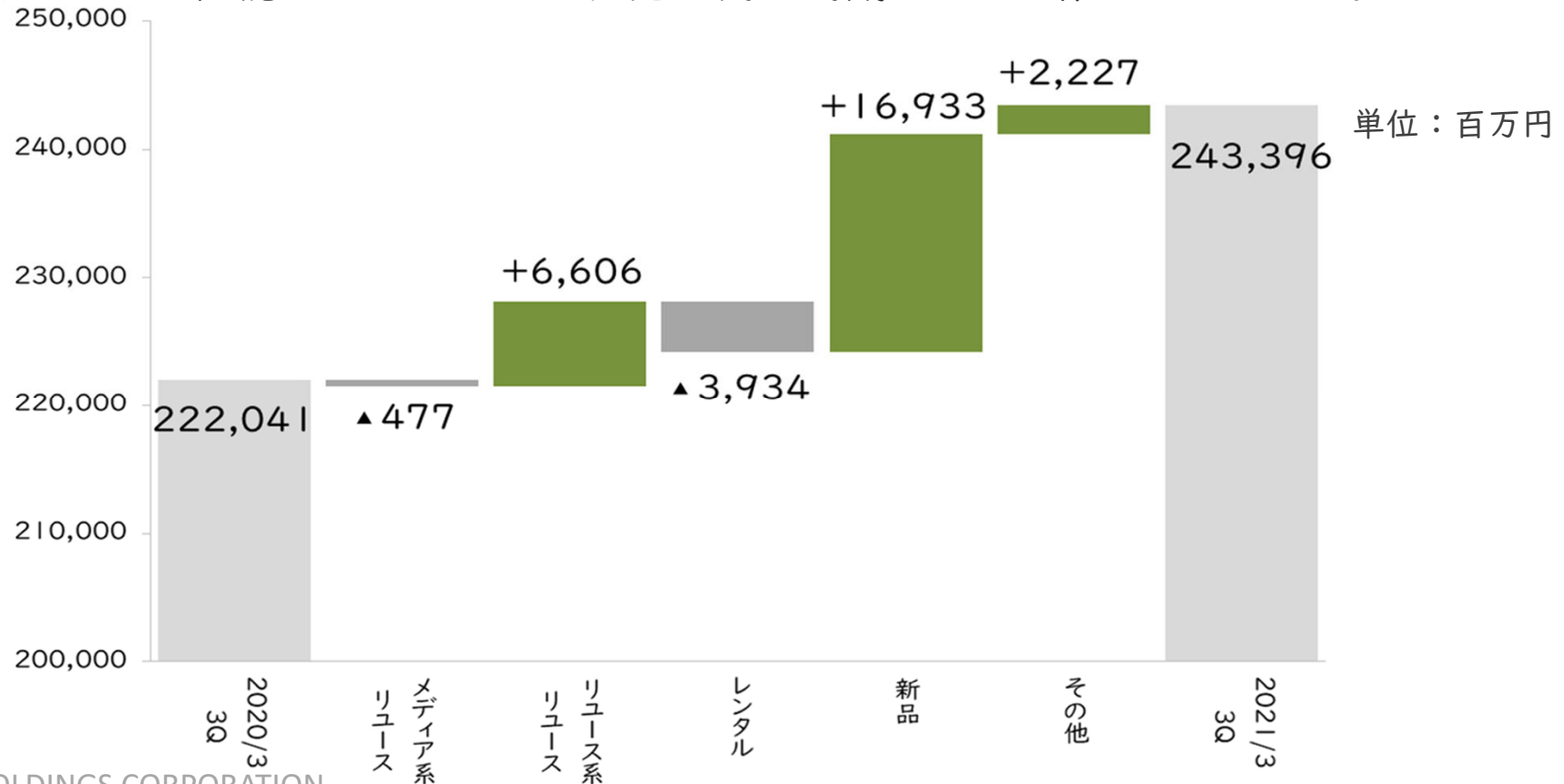
※四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益

1

売上高前年同期比増減

・ 新品販売好調が続いたことにより増収

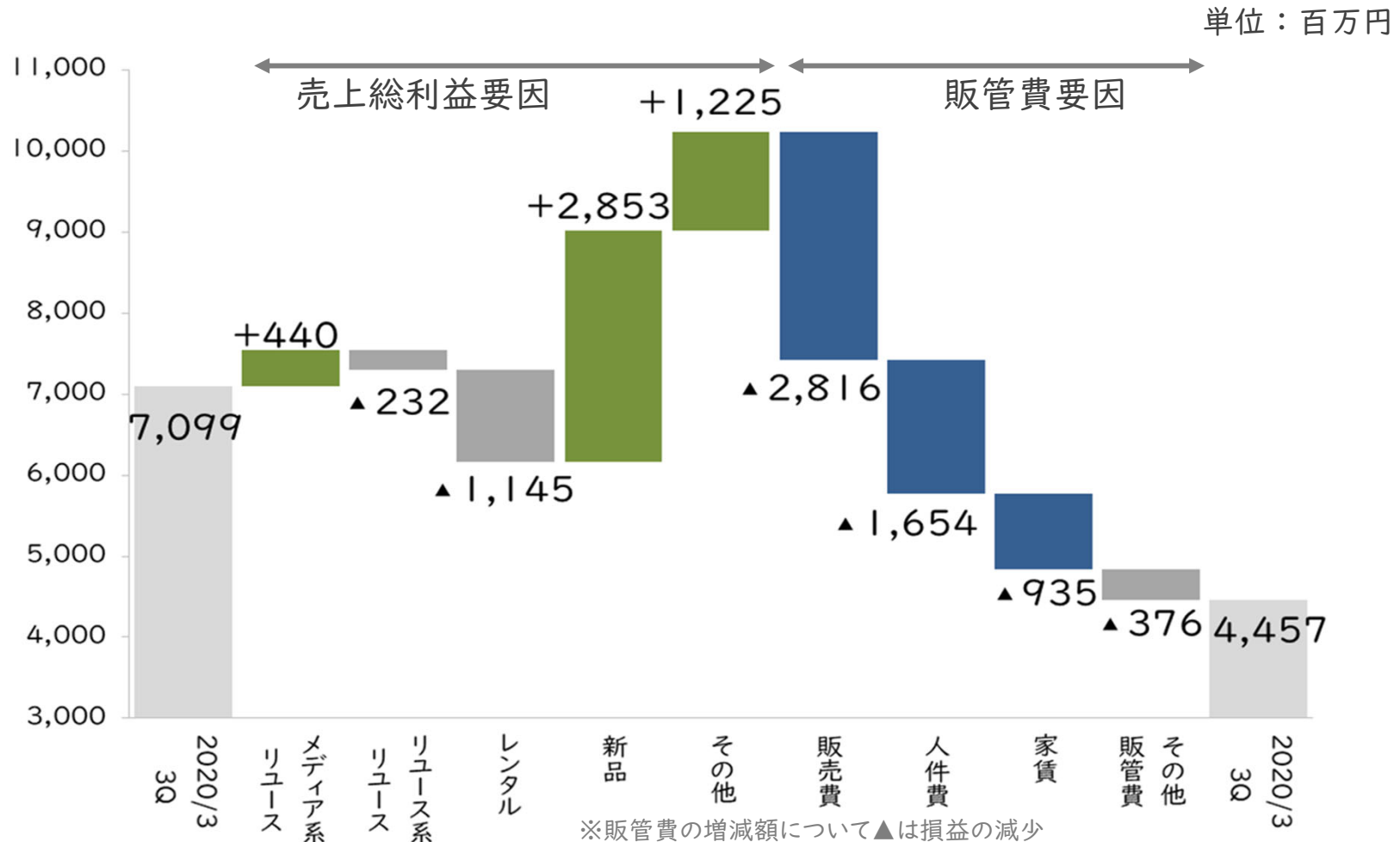
コロナ禍での新作不足もありレンタル売上の下降トレンドは下落幅を拡げ、「セカンドストリート」でのリユース系リユース商材売上も店舗数の増加もありましたが、低調な推移となりました。一方、ゲーム機本体を中心とした新品商材の好調は鈍化傾向にあるも継続したことにより、売上高は前期比9.6%増となりました。



1

営業利益 前年同期比増減

新品商材の販売好調により売上総利益は、前年同期比3.4%増加いたしましたが、販売管理費の増加がこれを上回り、営業利益は前年同期比37.2%減少となりました。



1

販売管理費

販売費は、キャッシュレス決済の増加により販売手数料が増加し、認知向上と買取を訴求したテレビCMなどの来店客数回復におけた広告宣伝活動を行いましたことから増加いたしました。人件費・地代家賃につきましても積極的な出店を続けていることから増加しております。

単位：百万円	20.3月期		21.3月期		増減	(前期比)
	3Q実績	(売上比)	3Q実績	(売上比)		
販売費計	8,136	3.7%	10,952	4.5%	2,816	134.6%
広告宣伝費	2,925	1.3%	4,529	1.9%	1,604	154.8%
販売促進費	390	0.2%	548	0.2%	158	140.7%
販売手数料	2,100	0.9%	2,992	1.2%	892	142.5%
人件費計	42,344	19.1%	43,998	18.1%	1,654	103.9%
その他諸経費計	34,223	15.4%	35,535	14.6%	1,312	103.8%
水道光熱費	2,764	1.2%	2,534	1.0%	▲229	91.7%
地代家賃	17,092	7.7%	18,028	7.4%	935	105.5%
減価償却費	3,099	1.4%	3,388	1.4%	288	109.3%
備品消耗品費	1,772	0.8%	2,075	0.9%	302	117.1%
修繕費	675	0.3%	557	0.2%	▲118	82.5%
販管費計	84,703	38.1%	90,487	37.2%	5,783	106.8%

2021年3月期第3四半期 商材別実績

・新品ゲーム商材売上は好調持続

レンタルは、第1四半期の巣ごもり需要が収束して以降、前年までの売上減少トレンド以上の減少幅で売上推移致しました。またメディア系リユースは、ゲームソフトの販売は巣ごもり需要もあり堅調に推移しましたが、ゲーム機本体は在庫不足により低調な推移となり、メディア系リユース商材全体の売上としては前期比98.8%となりました。

単位：百万円	20.3月期 3Q実績	21.3月期 3Q実績	前期比	増減額
リユース	89,036	95,165	106.9%	6,129
メディア系	40,603	40,125	98.8%	▲477
リユース系	48,433	55,039	113.6%	6,606
レンタル	43,490	39,555	91.0%	▲3,934
新品	59,103	76,037	128.6%	16,933
その他	30,411	32,638	107.3%	2,227
合計	222,041	243,396	109.6%	21,355

- ・ 新品ゲーム商材売上好調により売上総利益を確保

新品ゲーム商材販売の好調によりレンタルとリユース系リユースの粗利減少が補えました。しかしながらレンタル商材やリユース商材の粗利率は新品商材より高いものであり、新品商材の売上構成比が上昇したことにより、売上高の増加率と比べ売上総利益の増加率は低くなりました。

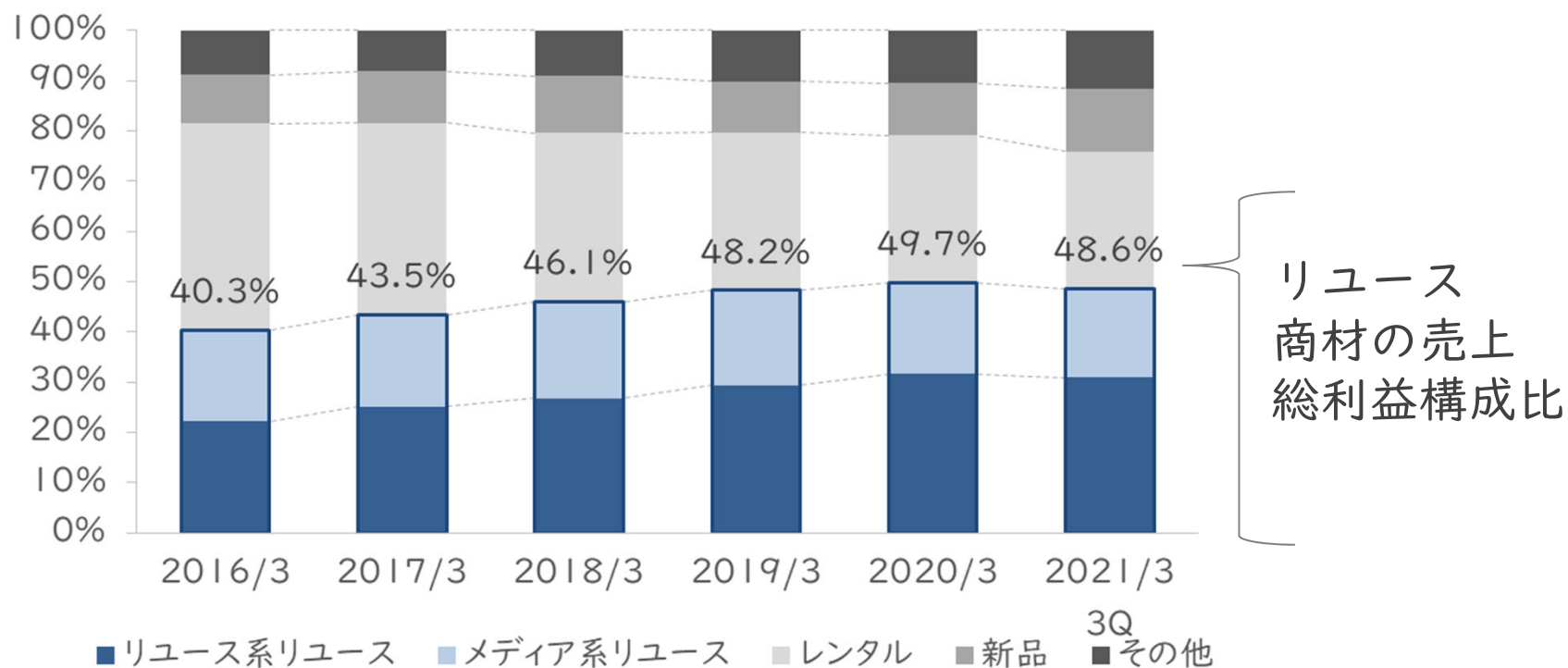
単位：百万円	20.3月期 3Q実績	21.3月期 3Q実績	前期比	増減額
リユース	45,893	46,101	100.5%	208
メディア系	16,309	16,749	102.7%	440
リユース系	29,584	29,351	99.2%	▲232
レンタル	27,193	26,047	95.8%	▲1,145
新品	9,000	11,854	131.7%	2,853
その他	9,716	10,942	112.6%	1,225
合計	91,803	94,945	103.4%	3,142

2

当社グループの売上総利益（構成比）の推移

・ 商材別売上総利益構成比（3Q）

市場縮小トレンドが継続するレンタルの比率を下げ、セカンドストリートを中心とする新規出店等により、リユース系リユース商材の構成比を高めることを戦略的に進めております。しかしながら当期におきましては、巣ごもり需要としてゲーム関連商材の新品販売が増加した結果、リユース商材の売上総利益構成比率が低下いたしました。



・映像レンタル

巣ごもり消費による特需的な需要は、第1四半期までで終了し、以降は前年までの市場縮小トレンドを下回る売上推移となっております。コロナ禍で映像配信サービスへの需要の移行が進むことが想定され、また新作映画の公開延期等の影響による映像レンタル作品の新作供給不足が継続することもあり、映像レンタルの売上推移は厳しさを増しております。

・ゲーム関連商材

新品ゲーム機本体(ハード)については、巣ごもりの的な需要が商品供給を上回る状態からの改善も進み、また11月には新型ゲーム機(PS5)の発売開始もあり、良好な売上推移が継続いたしました。しかしながら新品商材の中でも新品ゲーム機本体の粗利率は低く、売上総利益への影響は限定的であります。

また、リユースゲームソフトについても、巣ごもりからの需要の先食い状態から落ち着きを見せてきております。買取も回復傾向にありますが、今後長期的にはオンラインダウンロード版のゲームソフト購入も普及していくことが想定されておりますので、コントローラー等の周辺機器の充実を図り、ゲーム関連商材全体での利益確保に努めてまいります。

・ リユース系リユース商材

リユース系リユース商材につきましては、高価格帯商品の販売が増えましたことに加え、外出自粛により減少傾向にありました顧客からの買取(当社にとっては仕入)を回復させるために買取金額UPキャンペーンを行ったことが売上原価率を悪化させました。また、1回目の緊急事態宣言解除後に反動消費で一時的に需要が回復いたしました。8月以降のセカンドストリーートの既存店売上は前年を下回る推移となりました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響が長期化していく環境下においても、リユース系リユース商材については、消費者の節約・生活防衛志向もあり底堅い需要があるものと判断しております。外出自粛の中で減少しました買取に注力することにより在庫の充実を図り、既存店売上の回復に努めるとともにセカンドストリートを中心とした出店を継続いたします。

また、主にOKURA TOKYOにて取り扱っております時計・バッグ等のリユースラグジュアリー商品の動向につきましては、インバウンド需要が消失し、消費者の外出機会の減少も継続したことから厳しい状況ではあります。売上回復までの期間はほかのリユース商材より時間を要するものと想定しておりますが、リユースラグジュアリー部門でも業界No.1となるべく、ラグジュアリー専門店の出店につきましても継続してまいります。

ジオグループの取組み

3

ジオグループ店舗数の状況

・ 総店舗数 1,959店

	2020年 3月末	2020年 12月末	増減
ジオグループ店舗施設	1,938	1,959	21
小売サービス店舗	1,925	1,948	23
 ジョショップ	1,185	1,156	▲29
直営店	1,028	1,009	▲19
代理店・FC店	157	147	▲10
 ジョモバイルショップ	25	19	▲6
 セカンドストリート ジャンブルストア※	671	719	48
直営店	618	665	47
FC店	53	54	1
その他	44	54	10
OKURA TOKYO (おお蔵)	7	14	7
Luck・Rack	5	8	3
海外店舗	9	15	6
 アミューズメント施設	13	11	▲2



※ スーパーセカンドストリート・ジャンブルストア・セカンドアウトドア・買取専門店等を含む

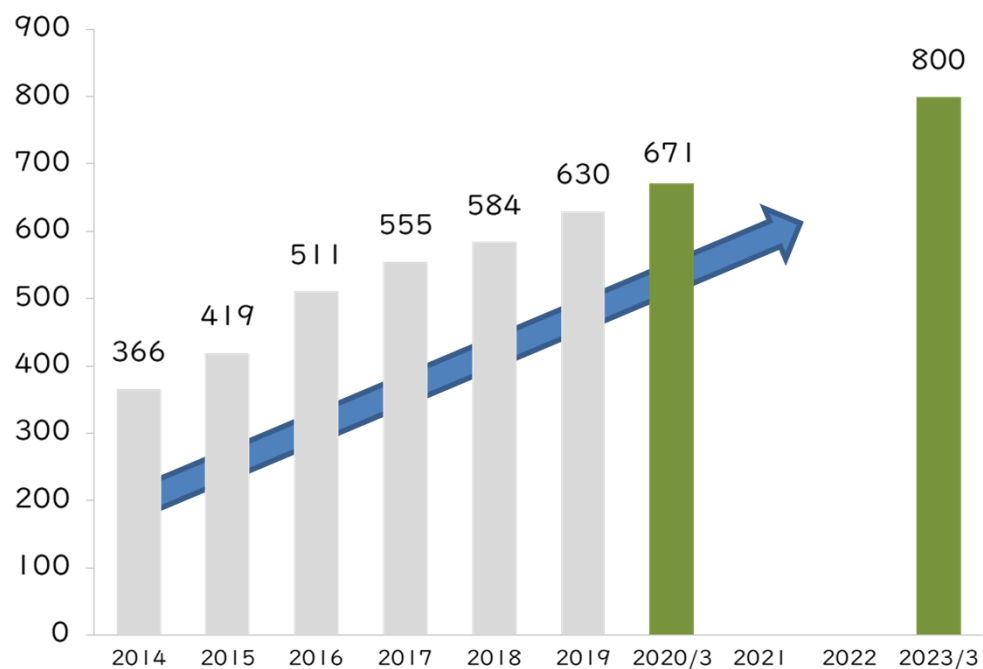
スーパーセカンドストリート柏沼南店(千葉県柏市)

3

リユース市場の深耕①

・セカンドストリートの出店継続

リユースに対する認知向上により、リユース市場の成長は続いております。リユース市場において圧倒的No.1企業となるべく、2023年3月期末までに800店舗体制を目指しており、新型コロナウイルスの影響が続く中ではありますが、第2四半期は16店舗(出店17・退店1)増、第3四半期は29店舗(出店32・退店3)増と積極的な出店を継続することにより、リユース市場の深耕を続けております。



スーパーセカンドストリート大宮日進店(埼玉県さいたま市)

3

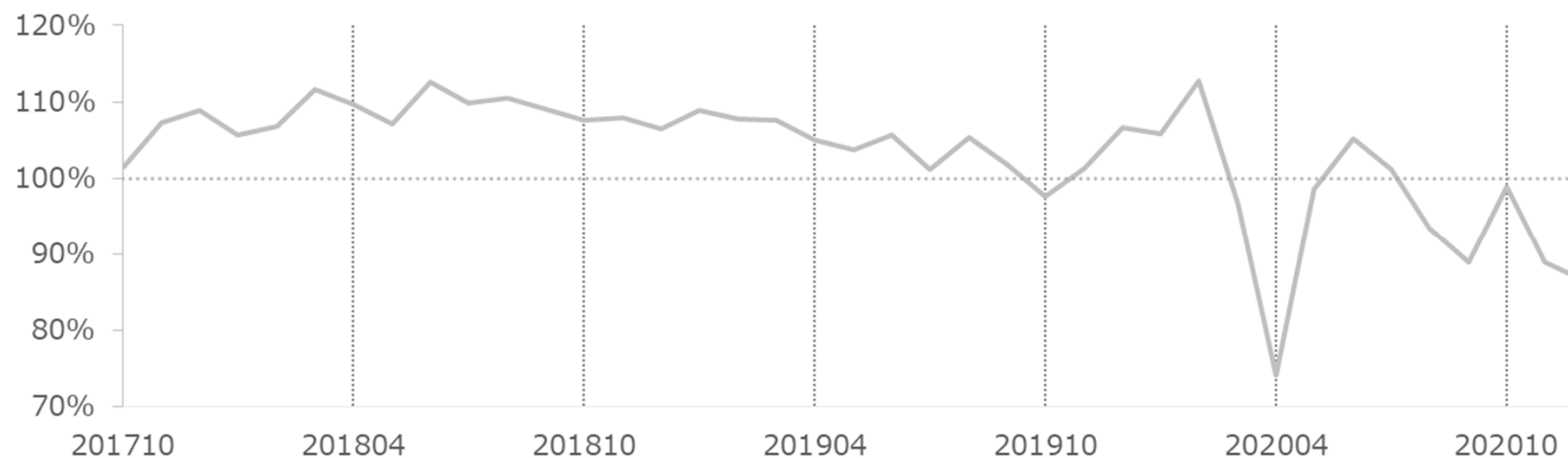
リユース市場の深耕②

・セカンドストリーートの既存店売上推移

新型コロナウイルスによる1回目の緊急事態宣言解除後、セカンドストリート既存店売上は給付金支給と外出抑制の反動から6月・7月と前年を上回る水準に回復しました。しかしながら、8月以降は外出自粛ムードが払しょくされるまでには至らず、また出店在庫確保も必要としたことから既存店での在庫の不足状態も見られたことから既存店売上前年比は低調な推移となりました。

既存店売上高前年比の推移

セカンドストリート既存店



・セカンドストリートの海外展開

当第3四半期のセカンドストリートの海外展開は、アメリカ3店舗、マレーシア1店舗を出店したことにより、第3四半期末時点でアメリカ9店舗、マレーシア6店舗、台湾1店舗となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため一時休業しておりましたアメリカ店舗も、一部営業時間短縮を続けながらも再開しており、マレーシア・台湾では営業への影響は比較的軽微な状況でありました。また、マレーシアでの出店に際しては日本からの渡航制限もあり現地スタッフのみで新店準備を行いました。予定通りの出店ができ運営の現地化も進んでおります。



セカンドストリートバンサーバル店(マレーシア クアラルンプール)



セカンドストリートチェルシー店(アメリカ ニューヨーク)

3

ITの積極活用とオンラインの強化

当社のサービスのうち、小売サービスにおける電子商取引が関与した売上高は、前期比126.7%と伸長しております。特に新型コロナウイルス環境下での店舗対応としてセカンドストリート店舗からのECサイトへ店舗併売商品の出品を進めた結果、巣ごもり消費の波にも乗れたこともあり、セカンドストリート自社サイトでの売上と販売数は、前期比187.2%と199.8%と大きく伸長しました。

	20.3月期 3Q実績	21.3月期 3Q実績	前期比
EC関与売上高（百万円）	9,852	12,480	126.7%
EC関与販売数（千個）	2,345	2,879	122.8%

自社サイトの認知向上と物流整備により、お客様が求めるシームレスなサービス提供基盤の整備に努めてまいります。

3

新規フォーマットの開発



OKURA
おお蔵

リユースラグジュアリー部門の強化

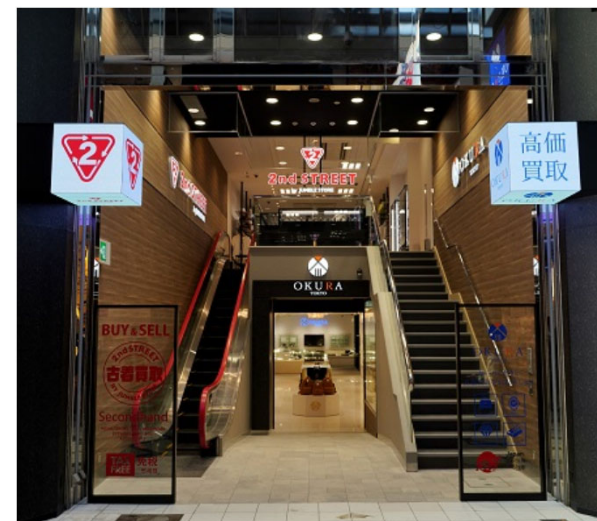
高級時計、ブランドバックなどのラグジュアリーブランドのリユースを行っております「OKURA TOKYO」(おお蔵)は、当第3四半期においてセカンドストリートとの併設店舗として大阪本店の出店を行いました。当社グループは国内リユース市場におけるラグジュアリー商材部門でもNo.1を目指してまいります。



Luck・Rack CLEARANCE MARKET

Luck・Rack (ラック・ラック クリアランス マーケット)
CLEARANCE MARKET

OPS (オフプライスストア) 業態とはメーカーの生産余剰品やシーズンオフ品などを仕入れて、店内商品全てをいつでもセール価格で提供するフォーマットです。当第3四半期には名古屋市・静岡市の駅前立地の商業ビルへの出店も含め3店舗の出店を行いました。最適立地の確立とオペレーションの標準化を進めながらチェーン展開を行っております。



OKURA TOKYO大阪本店&セカンドストリート心齋橋南店
(大阪市中央区)



ラック・ラック クリアランス マーケット
名古屋名鉄百貨店 (愛知県名古屋市)

2021年3月期 業績予想

新型コロナウイルスの業績に対する影響については、その影響度を下げながらも期末まで継続するものと想定して、5月11日に下記の通りの業績予想を公表させていただきました。

巣ごもり需要によりゲームを中心とする新品の販売は順調に推移致しましたが、第2四半期以降におきましてはレンタル需要の縮小が進み、またリユース系リユースのコロナ禍からの回復も進まず、利益面での進捗率向上も進みませんでした。

現時点において新型コロナウイルスの影響変化の想定が依然として立てづらいことから、業績予想はそのままとさせていただいており、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに公表いたします。

単位：百万円	21.3月期 通期予想	21.3月期 3Q実績値	21.3月期 3Q時進捗率
売上高	300,000	243,396	81.1%
営業利益	6,000	4,457	74.3%
経常利益	6,400	4,798	75.0%
当期純利益	3,200	1,018	31.8%

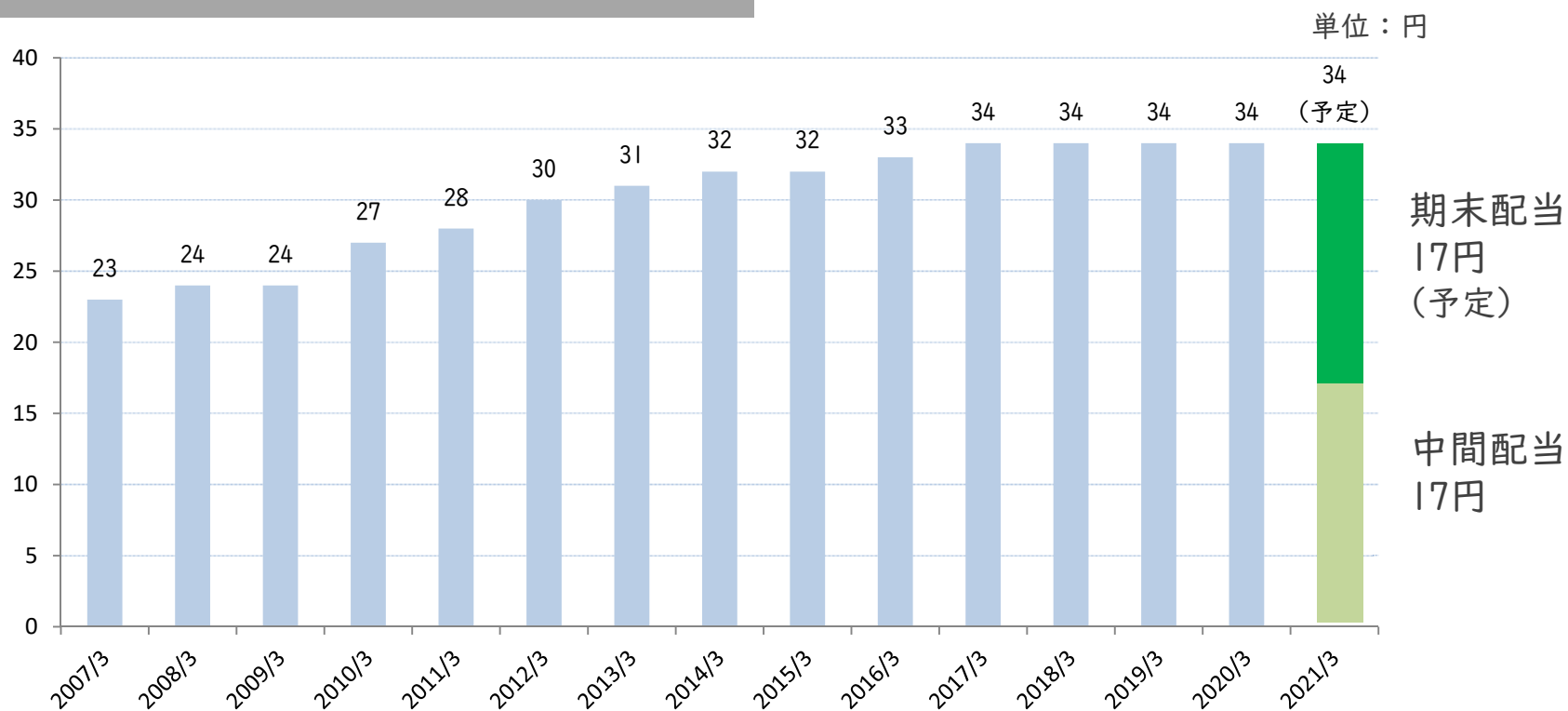
配当・株主還元

5

配当方針

株主に対する利益還元を経営の重点課題の一つと認識し、安定的な経営基盤の確保と利益率の向上に努めるとともに、安定的な配当を行うことを基本方針としております。

分割調整後の1株当たり配当額推移



補足資料

6

2021年3月期3Q：連結貸借対照表

	単位：百万円	2020年3月末	構成比	2020年12月末	構成比	増減額
流動資産		89,658	62.0%	122,770	68.6%	33,112
現金及び預金		32,598		57,803		25,205
商品		38,186		44,669		6,483
固定資産		55,044	38.0%	56,181	31.4%	1,137
有形固定資産		29,532		30,174		642
無形固定資産		1,885		2,274		389
投資その他資産		23,626		23,732		106
資産合計		144,702	-	178,952	-	34,250
流動負債		34,233	23.7%	50,179	28.0%	15,946
買掛金		11,039		14,519		3,480
短期借入金		5,000		12,000		7,000
1年以内返済予定の長期借入金		3,737		4,687		950
固定負債		35,453	24.5%	54,036	30.2%	18,583
長期借入金		25,956		44,293		18,337
負債合計		69,686	48.2%	104,216	58.2%	34,530
自己株式		▲1,999		—		1,999
純資産合計		75,016	51.8%	74,736	41.8%	▲280
負債純資産合計		144,702	-	178,952	-	34,250

6

2021年3月期：連結損益計算書(会計期間)

単位：百万円	20.3月期				21.3月期			
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
売上高	63,918	74,130	83,992	83,016	82,860	75,718	84,817	
(前期比)	99.2%	108.8%	99.1%	110.4%	129.6%	102.1%	101.0%	
売上総利益	29,728	30,236	31,838	31,997	33,230	30,286	31,428	
(前期比)	102.2%	99.6%	98.4%	106.8%	111.8%	100.2%	98.7%	
(売上総利益率)	46.5%	40.8%	37.9%	38.5%	40.1%	40.0%	37.1%	
販管費	27,126	28,256	29,320	29,075	29,673	30,219	30,594	
(前期比)	106.9%	105.6%	109.6%	106.8%	109.4%	106.9%	104.3%	
営業利益	2,602	1,979	2,517	2,923	3,557	66	834	
(前期比)	69.9%	55.0%	44.9%	106.9%	136.7%	3.4%	33.1%	

6

商材別売上高（会計期間）

単位：百万円	20.3月期 1Q 実績	20.3月期 2Q 実績	20.3月期 3Q 実績	20.3月期 4Q 実績	21.3月期 1Q 実績	21.3月期 2Q 実績	21.3月期 3Q 実績	21.3月期 4Q 実績
リユース	26,530	31,063	31,441	33,281	31,420	29,894	33,850	
メディア系	12,914	14,008	13,679	15,444	15,405	12,242	12,478	
リユース系	13,615	17,055	17,762	17,837	16,014	17,652	21,372	
レンタル	14,784	14,826	13,880	14,472	14,957	13,232	11,366	
新品	13,736	19,094	26,273	25,025	26,502	21,331	28,203	
その他	8,867	9,147	12,399	10,237	9,981	11,258	11,398	
合計	63,918	74,130	83,993	83,015	82,860	75,717	84,818	

6

商材別売上総利益（会計期間）

単位：百万円	20.3月期	20.3月期	20.3月期	20.3月期	21.3月期	21.3月期	21.3月期	21.3月期
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績
リユース	14,827	14,958	16,106	15,674	15,820	14,270	16,009	
メディア系	5,427	5,503	5,377	6,044	6,677	5,123	4,949	
リユース系	9,400	9,454	10,729	9,630	9,143	9,147	11,059	
レンタル	9,361	9,333	8,498	9,250	10,021	8,725	7,300	
新品	2,379	2,986	3,634	3,816	4,278	3,469	4,106	
その他	3,160	2,959	1,731	5,125	3,110	3,820	4,011	
合計	29,728	30,236	29,969	33,865	33,230	30,286	31,428	
粗利率	46.5%	40.8%	35.7%	40.8%	40.1%	40.0%	37.1%	

グループ概要

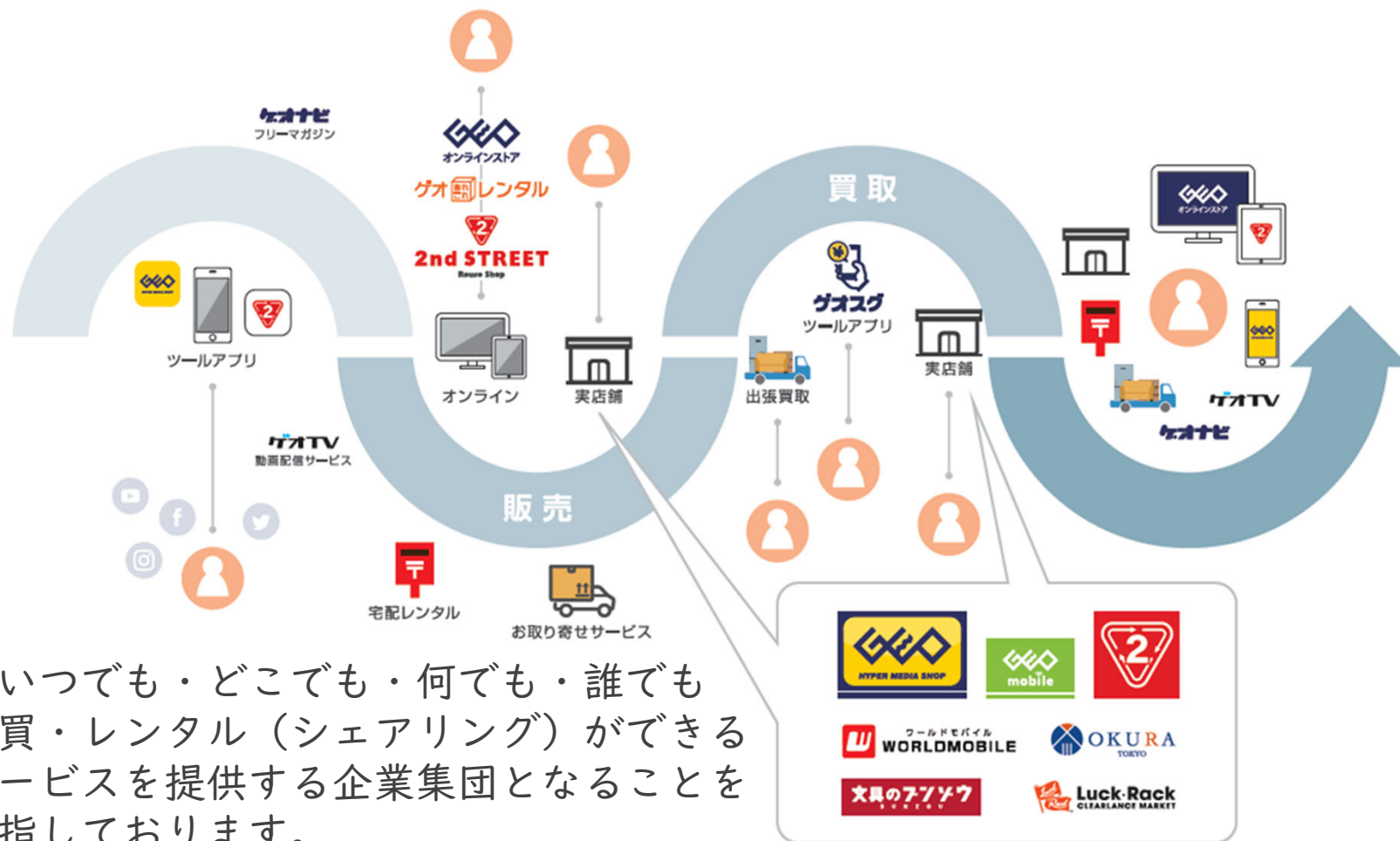
・社名	株式会社ゲオホールディングス (英文表記：GEO HOLDINGS CORPORATION)
・会社設立	1989年（平成元年）1月
・本社	〒460-0014 愛知県名古屋市中区富士見町8番8号
東京本部	〒170-0005 東京都豊島区南大塚三丁目53番11号 今井三菱ビル
・代表取締役	遠藤 結蔵
・資本金	89億75百万円*
・株式上場市場	東京証券取引所 第一部

*2020年12月31日現在

7

ゲオグループ

当社が提供するサービス・商品を多くのお客様に知っていただき、販売・買取、レンタル(シェアリング)の実店舗とオンライン環境との境目をなくしていきます。



いつでも・どこでも・何でも・誰でも
 売買・レンタル(シェアリング)ができる
 サービスを提供する企業集団となることを
 目指しております。

7

ゲオグループの主なショップと取扱い商材

	リユース系 リユース			メディア系 リユース			レンタル		新品		店舗数 (2020年12月 末時点)
	衣料	服飾 雑貨	家具 家電	ゲーム 機器 ゲーム ソフト	携帯 電話 スマー トフォ ン	家電 PC	DVD	BOOK・ CD	衣料	ゲーム 機器 ゲーム ソフト	
ゲオショップ ゲオモバイルショップ  	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1,175
セカンドストリートショップ 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	719
OKURA TOKYO (おお蔵) 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	14
Luck・Rack CLEARANCE MARKET 	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	8

※主な取扱い商材の一覧になります。店舗によっては、取扱いがない場合がございます。

将来の見通しに関する記述の注意

本資料に記載されている、当社グループに関する業績見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価ならびに業績や配当の見通し等といった将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての事実は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上客観的には、不正確であったり、一般的な状況、天候、景気および消費動向の変化、消費者の嗜好変化等による潜在的リスクを含んでおり、将来その通りに実現するという保証はいたしかねます。



GEO HOLDINGS CORPORATION

企業理念：豊かで楽しい日常の暮らしを提供する

お問合せ 株式会社ゲオホールディングス 経理財務部

TEL：03-5979-6361

Email：info@geonet.co.jp